

宝酒造・田んぼの学校 田植え編

- ◇ 日 時 2018年5月13日(日)
- ◇ 場 所 南丹市園部町仁江
- ◇ 天 候 雨
- ◇ 参加者 80名弱 スタッフ17名

蛙たちが喜びそうな恵みの雨の一日となった。聞けば田んぼの学校始まって以来の天候だとか。どこかに雨男、雨女がいる？何があっても関係者は臨機応変に対応できるよう本日の開校に向けてスタンバイ。

さて、開校式の後、10時半過ぎに屋外へ。野外での観察は昨年実施された里山エリアはとりやめとし、田んぼエリアを時間を短縮して回った。



シュレーゲルアオガエル

田んぼのそばの草地でカキドオシ、ドクダミ、サンショウ、ヨモギなどで“におい”観察。葉っぱを揉んで嗅いでみると、‘爽やかあ’とか‘臭あい’とか、普段あまり意識しないもんね。なぜそうなのかは、また次回にでも。サンショウの実をちょっとかじってみたりした。久しく食べていない蒲焼が頭に浮かんだ。



ヌマガエル

2週間前に見た新緑の中の藤の色はもうなくなっていた。草花も雨で縮こまっていたが、名刺作り用に好きな色の花など探して採取した。

朝、田んぼのへりにくっきり続いていた鹿の足跡もすっかり水没。すぐに田植えができる状態になった田んぼの中にはどんな生き物がいるのか、ぬかるみに気をつけながら目をこらす。

シュレーゲルアオガエルのカップルを手に乗せた時、お父さんの瞳が輝いた。親子でカエルのヌルヌル感触を楽しんでいた。移動しましょうと声をかけても去りがたい感じ。シュレーゲルアオガエルの白いあわあわの卵塊も珍しいようだった。

生き物田んぼの水路ではアカハライモリが集まっています、今日は両生類が主役のよう。11時ころに館内に戻り、各組に分かれて草花名刺作りに取り掛かった。濡れてはうまくいかないの、ペーパータオルでしっかり水分を取って各自、花をこすったり、押しつけたりした。一番人気はアカメガシワ。葉脈も出ていい感じ。



草花名刺草の色見本を見ながら
「どの花にしようかな」

作っている間、清水講師と伴講師がミニ授業として各組を回った。田んぼの1年の中で育まれる生き物の話。今日採取した実物カエル類の説明。子供たちの反応は色々だろうが、室内での授業は落ち着いて聞くことができ、良かったと思う。

出来上がった名刺で、お父さん同志が模範的な‘名刺交換’。子供も照れながら交換をした。

結局、雷鳴も聞こえたという事で午後の田植えは中止になったので、農家の方に米作りのご苦労話や、苗を植えるベストな方法（2，3本で20センチ間隔）などを参加者とともに聞いていつもより早めの解散となった。

生物採取のスタッフの皆さま、雨の中お疲れ様でした。ずっとカエルの合唱も聞こえてまさに五感を使って始まった自然観察でした。次回からは是非天候に恵まれますように。（榎）



草花名刺作り



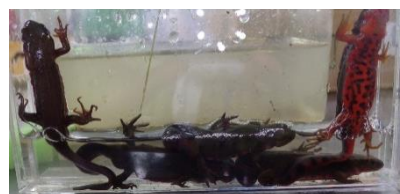
1年の田んぼのようすについての授業



田んぼの生き物についての授業



トノサマガエル・ヌマガエル



アカハライモリ



トビケラの幼虫



カナヘビ



ヒメアメンボ